



甲南第一小学校だより

第一っ子



令和4年8月29日

(2022年度)

第5号

甲南第一小学校

「Touch」&「Push」で ICT時代へ「Slide」!

今年度もコロナウィルスの影響を大きく受ける年となっています。感染拡大が始まった当初は、こんなに長引くとは誰も予想していなかったのではないのでしょうか。感染拡大が長引くにつれ、学校生活や学習も大きく変わることになりました。特に、子どもたちの学力保障や生活指導支援等のためにGIGAスクール構想が前倒しで実施され、一人一台のタブレット時代を迎えています。

本校の授業におきましても、タブレットを活用した学習が多くみられるようになってきています。そして、子どもたちのタブレット操作も予想以上の上達ぶりです。その適応力・対応力には本当に目を見張るばかりです。

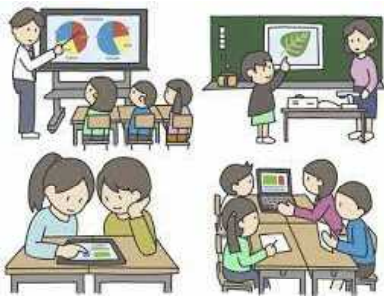
タブレットは実に便利なものです。学習の発表や記録等スムーズに行えますし、必要とする情報の収集や集約、共有等も簡単にできます。それも「Touch（触れる・触る）」「Push（押す）」「Slide（すべらせる）」、いわゆる指先一つの「TPS操作」でいろいろな処理が容易にできてしまうから驚きです。

ただ、そんな便利なものを使っていくが故によくよく気を付けておかなければならないことがあります。それは、「手」を使うことが少なくなることの危険性、つまり、単純な指先の動きが多くなり、それまで書いたり、作ったり、使ったりして養われてきた「手」の「巧み」な動きが少なることへの心配です。

人は「手」を使うことで進化を始めました。「手」のみならず「体」を使い、「五感」をいっぱい働かせて「脳」の活性化、すなわち「思考力」を高めてきました。「手」や「体」を使う機会が減少することで「脳」への刺激が少なくなり子どもたちの「思考力」の育成に何らかの影響が出てくるのが懸念されます。何でもかんでも安易にタブレットに頼りすぎるには注意が必要ですし、しっかりと効果を見極めて使用していくことが必要です。

今後もタブレットを効果的に活用しながらも、従来から実践されてきた学習活動、特に、「手」や「体」をいっぱいを使い、「Touch（本物に触れる・触る）」「Push（自分自身の手で推し進める）」の学習も大切にしつつ、これからのICT時代に「Slide（移行）」し、「思考力」を高めることを大切にしながら、子どもたちの健全な育成に努めていきたいと思ひます。

甲南第一小学校 校長 松山 辰也



体育大会 10月15日(土)

今年度の体育大会も感染予防対応として「午前中開催」といたします。種目数を削減し11時過ぎに閉会式を行い12時までに一斉下校とします。保護者観覧席も例年のような地区別テントは設けず、フリーゾーンエリア（詳細は後日）からの観覧となります。ご不便をおかけいたしますがご理解ご協力をお願いいたします。

9月 防災月間

今年も全国各地で水害が多発し、これからも台風による風水害が予想されます。合わせて「南海トラフ地震」の危険度も増している現在、「防災」に関する正しい知識と普段からの備えが重要です。学校でも年3回避難訓練を行っていますが、災害は学校にいるときに起こるとも限りません。家族で、「いざという時」の話し合いをぜひこの機会に!

引き続き 感染予防と熱中症対策を!

夏休みの少し前から感染拡大「第7波」が全国を襲い、その状況も高止まりの傾向が見られます。滋賀県も感染者数が急増し、改めて感染予防の重要性が伝えられています。学校は集団生活を行う場であり、「密」を防ぐには限界とを感じる場面もありますが、だからこそ「緊張感」をもった行動が求められます。加えてまだまだ続くこの暑さ。熱中症にも気を付けなければなりません。マスク着用、手洗い・食毒・水分補給は言うに及ばず、改めて「日々の健康観察の徹底」、「ソーシャルディスタンスの確保」、「正しい予防知識の取得」に努めていきたいと思ひます。



ひとみ輝く第一っ子 よく学び・心豊かに・健やかに